

目 次

○第1号（10月19日）

議事日程 第1号	1
本日の会議に付した事件	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のため出席した者	2
事務局職員出席者	2
開会・開議	3
町長挨拶	3
諸般の報告	3
日程第 1 会議録署名議員の指名	3
日程第 2 会期の決定について	3
日程第 3 議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）	4
町長挨拶	16
閉 会	16

令和4年第5回吉岡町議会臨時会会議録第1号

令和4年10月19日（水曜日）

議事日程 第1号

令和4年10月19日（水曜日）午前9時30分開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）

（提案・質疑・討論・表決）

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（13人）

1番	小林 静 弥 君	2番	富岡 栄 一 君
3番	飯塚 憲 治 君	4番	廣嶋 隆 君
5番	富岡 大 志 君	6番	金谷 康 弘 君
8番	村越 哲 夫 君	9番	坂田 一 広 君
10番	飯島 衛 君	11番	平形 薫 君
12番	山畑 祐 男 君	13番	小池 春 雄 君
14番	岩崎 信 幸 君		

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町 長	柴崎 徳一郎 君	副 町 長	野村 幸 孝 君
教 育 長	山口 和 良 君	総 務 課 長	高田 栄 二 君
企画財政課長	米沢 弘 幸 君	住 民 課 長	小林 康 弘 君
健康子育て課長	中島 繁 君	介護福祉課長	永井 勇一郎 君
産業観光課長	岸 一 憲 君	建 設 課 長	笹沢 邦 男 君
税務会計課長	中澤 礼 子 君	上下水道課長	大澤 正 弘 君
教育委員会事務局長	高橋 淳 巳 君		

事務局職員出席者

事 務 局 長 福 島 良 一 主 事 岸 美 穂

開会・開議

午前9時30分開会・開議

議長（岩崎信幸君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は13名です。定足数に達していますので、令和4年第5回吉岡町議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

町長挨拶

議長（岩崎信幸君） 町長より発言の申入れがありますので、これを許可します。

柴崎町長。

〔町長 柴崎徳一郎君登壇〕

町長（柴崎徳一郎君） 皆さん、おはようございます。

令和4年第5回吉岡町議会臨時会の開会に当たりまして、一言ご挨拶させていただきます。

本日、臨時会が議員各位の出席の下、開会できますことに心から感謝を申し上げます。

さて、本臨時会では、議案1件を上程させていただきました。慎重審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、議員皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げまして、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

諸般の報告

議長（岩崎信幸君） 次に、諸般の報告をいたします。

お手元に配付してある書面のとおりです。それをもって諸般の報告といたします。

それでは、お手元に配付してあります議事日程（第1号）により会議を進めます。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（岩崎信幸君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、吉岡町議会会議規則第119条の規定により、議長において1番小林静弥議員、2番富岡栄一議員を指名します。

日程第2 会期の決定について

議長（岩崎信幸君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は本日1日限りとしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（岩崎信幸君） 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りと決定します。

なお、会期日程は配付の表のとおりです。

日程第3 議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）

議長（岩崎信幸君） 日程第3、議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）を議題とします。

柴崎町長より提案理由の説明を求めます。

柴崎町長。

〔町長 柴崎徳一郎君登壇〕

町長（柴崎徳一郎君） 議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）について、提案理由の説明を申し上げます。

本補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,830万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ86億8,850万円とするものです。

補正の主なものは、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金及び新型コロナウイルスワクチン接種に伴うものとなります。

その他、詳細につきましては、企画財政課長に説明させますので、よろしくご審議の上、可決いただきますようお願い申し上げます。

議長（岩崎信幸君） 米沢企画財政課長。

〔企画財政課長 米沢弘幸君発言〕

企画財政課長（米沢弘幸君） 議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）、議案書1ページをご覧ください。

第1条第1項の歳入歳出予算の補正額は、町長が提案理由の中で申し上げたとおりです。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表・歳入歳出予算補正」によるということで、内容については、補正の款項の区分等を含め、後ほど事項別明細書で説明いたします。

議案書10ページをご覧ください。

初めに、歳入の主なものです。

15款国庫支出金1項国庫負担金4,783万1,000円の増及び2項国庫補助金3目衛生費国庫補助金3節予防費国庫補助金3,849万8,000円の減は、歳出の新型コロナウイルスワクチン接種に伴う補正に伴うものになります。2目民生費国庫補助金1節社会福祉費国庫補助金8,009万5,000円の増は、歳出の電力・ガス・食料品等

価格高騰緊急支援給付金に伴うものになります。

19款繰入金2項基金繰入金1目1節財政調整基金繰入金は112万7,000円の減となります。補正後の財政調整基金からの繰入額は8億5,992万2,000円となります。

次に、歳出の主なものです。

11ページをご覧ください。

3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費7,896万8,000円の増は、12ページ一番上の19節扶助費、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金及び給付に伴う事務経費等になります。給付金については、令和4年度分の町民税均等割が非課税である世帯などに対し、1世帯当たり5万円を支給するものとなります。

4款衛生費1項保健衛生費2目予防費933万3,000円の増は、新型コロナウイルスワクチン接種に伴う補正となります。主なものは、ワクチン接種に伴う委託料及び事務経費等となります。

そのほか、別紙参考資料としてA4判、9ページの説明資料を添付させていただきました。

以上、町長の補足説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

議長（岩崎信幸君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

飯塚議員。

〔3番 飯塚憲治君発言〕

3番（飯塚憲治君） まず、事項別明細書の12ページ、先ほど説明いただきました電気・ガス、それとコロナ、この2つ、これは町長の説明にもありましたけれども、今回の補正はこれの2つの事項に尽きるということでもありますけれども、電気・ガスはこのまま掛ける5万円で何件か分かりませんがこの額になるということですが、衛生費の12節委託料で約4,700万円が片方で減って片方が増えている。この理由は何かお尋ねいたします。

それで、これは説明資料の2/9ページ、国庫支出金の3目衛生費国庫補助金の一番下の三角の印、これが3,800万円ほどまた減になっていますけれども、この関連性について説明をしていただきたいと思います。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） こちらの予防費の委託料につきましては、コロナのワクチン接種ということで、当初、事務費ということでコールセンター等につきまして少し多く予算を取っておりました。それで、今回、下の予防接種の委託料ということで、個別という形で書

いてありますけれども、こちらにつきましては5回目接種等、オミクロン株対応のワクチン接種等、始まりましたので、そういったところの接種に対する委託料が増額になったということになります。

それと、歳入の減額につきましては、事務委託料等につきまして、備品ですとかそういったものが15款2項3目衛生費国庫補助金のほうで減額という形になります。

それで、予防接種の委託料、先ほどありました個別の対応につきまして、こちらが15款1項2目の増額という形になります。

議長（岩崎信幸君） 飯塚議員。

〔3番 飯塚憲治君発言〕

3番（飯塚憲治君） ちょっと私が理解したのと違うようですけれども、さらに説明資料4／9ページ、一番下のひし形の黒、これが900万円ほど増えている。これは、今まで接種というのは保健センターで集中的に行っていた面がありますけれども、今後は保健センターではやらないということですか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） コロナのワクチン接種につきましては、個別で病院等にもお願いをしている状況ですけれども、状況によりまして、また保健センターのほうで集団接種ということも予定はさせていただいている状況にあります。

議長（岩崎信幸君） 飯塚議員。

〔3番 飯塚憲治君発言〕

3番（飯塚憲治君） 今それをお聞きしたかったんです。今までずっとスムーズに個別のお医者さんでやっていただいたのと保健センターで集中的にやっていたと。この二段構えでスムーズにやってこられた。最初はちょっと申込み等でトラブルもあったようですけれども、一応順調にやってきたと。

今回はそれを受けてもうこれで大丈夫だろうということで、保健センターで集中的にはやらずに、全部市中の、町内のお医者さん、町外も含めますけれども、にやっていただくということでこの補正予算が組まれておるといふに私は理解して、今そういうご説明をいただいたんですけれども、そこで私の1番目の質問は、そういう体制にして、今までどおりスムーズに混乱なく、申し込めた人はスムーズに接種できるかどうか、その体制が十分ですかということ、ちょっと先ほど答えていただきましたけれども、それをお聞きしたかったんです。再度お願いします。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） ワクチンの接種につきましては、オミクロン株対応のものにつきましては現在5か月という間隔、3回目、4回目、5回目につきましては前回の接種から5か月というようなこともありますけれども、そういったところの変更等によっていろいろ状況等変わってくるかなというところもございます。また、幼児のほうのワクチン接種も始まるといったようなこともございますので、混乱のないように対応していきたいと考えております。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。
坂田議員。

〔9番 坂田一広君発言〕

9番（坂田一広君） 今回、町民税の均等割が非課税の世帯に対して5万円を支給するということとあります。電気・ガス、また食料品の高騰というのは、今年に入ってから顕著なものがあるかなという感じがするわけですが、この5万円の支給、速やかな給付が望まれますけれども、どのような形で給付をされるのかという点が第1点で、もう1点、電算業務委託料というのが279万2,000円ほど計上されておりますけれども、この業務委託の内容についての説明をお願いいたします。

議長（岩崎信幸君） 永井介護福祉課長。

〔介護福祉課長 永井勇一郎君発言〕

介護福祉課長（永井勇一郎君） ご質問の今後の給付スケジュールについて、まずご説明いたします。

今回の給付金につきましては、システムの改修が終わり次第、住民税非課税世帯、対象世帯につきまして、前回の10万円の給付と同様、確認書の送付を行います。確認書は11月中に送付される予定です。それをもって、確認書を返送していただいた方、審査が終わった方から、随時、指定した口座への振込を行うんですが、早ければ12月の初め、上旬から振込を行う予定でございます。

それから、電算委託料についてなんですけれども、こちらは内訳がございます。まず、システム自体の改修費が170万5,000円、それからシステム改修に伴う関連処理業務の委託費が108万6,250円ということでございます。システムの改修内容は、住民税非課税世帯の抽出、それから給付金の申請、変更、照会をする機能、口座情報の一括取り込み機能、税情報の照会機能、支払い管理機能、通知書の出力、マスター管理等でございます。そのシステム改修に伴う関連処理業務といたしましては、国が定めた申請書や封筒、支払い通知の作成、プリント処理、封入封緘の作業、また、シーリング作業等を予定しております。数につきましては1,500枚程度ということで発注する予定で、これにつきましては、抽出作業終了後に数に変更されれば減算となります。

以上です。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。

小池議員。

〔13番 小池春雄君発言〕

13番（小池春雄君） 5回目接種ということで、また、コロナ予防接種委託料（個別）分ということで4,783万1,000円とありますけれども、これが4,757万3,000円の内訳はどういうふうになるのでしょうか。先ほど、コールセンターだとか課長のほうからありましたけれども、コールセンターにどのくらい支払われるんだか。4,757万3,000円となっていますよね。これは積み上げたものですから、コールセンターにどういう内容でどこに幾ら払うかと。また、手数料として医療機関にどのように払うのかと。その基礎となる数字がありますよね。それをお知らせ願いたいと思うんですけれども。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） コールセンターのほうにつきましては、当初、少し多く見積もらせていただいておりますので、約1億7,000万円ほど見込ませていただきました。

それで、今回こちらが減額になっておりますのは、そういったコールセンター分、今まで半年間やってきまして、その実績等を踏まえたところで、こちらを5,300万円ほど減額させていただきました。

また、細かい関係になるんですけれども、予診票の作成業務、新しく追加接種、4回目、5回目等のオミクロンの追加接種等ありますので、予診票の印刷といったところを増やさせていただきますので、こちらにつきましては4,757万3,000円の減額ということになります。

それと、コロナの予防接種委託料につきましては、この後、オミクロン株対応ワクチン等の追加接種に伴うものということで2万人ほど、今までの実績等も踏まえたところで約2万人分の接種委託料を計上させていただきますので、4,783万1,000円の増額とさせていただきます。

議長（岩崎信幸君） 小池議員。

〔13番 小池春雄君発言〕

13番（小池春雄君） その減額のは分かったんです。4,757万3,000円というのは分かったんです。また新たに委託料としてコロナ予防接種委託料（個別）とありますよね。これが4,783万1,000円とあるじゃないですか。4,783万1,000円、コロナ予防接種委託料（個別）とあるじゃないですか。これの内訳というのはどうなっているんですかと聞いたんです。この中で、コールセンターに幾ら払われて、どこかに業務委託するんでしょうけれども、コールセンターが幾らで、予診票を作ったりなんか

するとそれに幾らかかって、この4,783万1,000円の内訳はどういうふうになっていますかと聞いているんですけども。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） こちらにつきましては、コロナ予防接種委託料、こちらは病院のほうに払わせていただくものになりますけれども、接種した場合。こちらが大体2,277円ということで当初1万人見てあったんですが、それを1万4,500円、実績等を見まして変更させていただいたと。それと、オミクロン株対応ということで1万6,800円を増やさせていただきました。

それと、5歳から11歳の子供の接種に対する加算ということで、前回の補正予算で670人分取らせていただいたんですけども、こちらにつきましては委託料ということではなくて支援金ということで、18款のほうに小児医療支援金ということで移動させていただきました。また、そちらの金額につきましては幼児のほうも始まるということで、そちらを見越したような数字で予算を計上させていただいたということになります。

以上です。

議長（岩崎信幸君） 小池議員。

〔13番 小池春雄君発言〕

13番（小池春雄君） 課長は担当だからみんなよく分かるんですよ。でも、聞いているほうとするとちょっと医療のほうは分かりにくいんです。確かに同じ予防費の中では、補正というのは933万3,000円という大した額じゃないんですけども、その中で減額があって増額があってということなんです。もっと先に聞いておけばよかったのかもしれないんですけども、全体のお金の動きというのがちょっと見えにくいんです。分かりにくい。後でもいいです。今、口で言われたって、分かっているようで聞いていてちょっと分からないんです。後でもいいですから、初めてといたってもうこれで5回目の話までしていますから、その経過の中で予防費、予防接種にかかったお金というのは、これは補正ですから、今回も含めますけれども、これまでで総額が幾らでどれだけかかったということは分かりますよね。その全体のお金というのが吉岡町でどこにどれだけ、国から幾ら入ってきて、それぞれの機関がありますよね。町の事務費もあれば委託した部分もありますから。これからまた払うものはあるんでしょうけれども、先ほど言ったコールセンターとかそういうところに支払われたお金というのはどのぐらいになるのかと。医療機関でいうとどのぐらいかかったのかと。また、これを集団接種するとかかったお金というのがどこにどのぐらい支払われたのかということが分かるものを、後でもいいですよ、今言ってもあれですから、後でもいいですから出してください。

議長（岩崎信幸君） 今、資料請求がありました。（「後でいいですから」の声あり）提出できますね。

ほかにありませんか。

富岡議員。

〔2番 富岡栄一君発言〕

2番（富岡栄一君） ちょっと2つほど質問させていただきます。

コロナワクチンの在庫量と今の町民の接種率をお聞きしたいと思います。前、コロナワクチンでモデルナだと思うんですけども、新聞報道で吉岡町は余って廃棄したというのを見たような気がします。また、ワクチンが余計、まだ残っているのか。また、オミクロン株に対応するワクチンはどのくらい予定して、もう来ているのか。取りあえずワクチンの量のほうをお伺いします。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） ワクチンにつきましては県等で調整をしながら町のほうに来ますけれども、従来型のワクチンにつきましては、モデルナ社製のものにつきましては、現在、オミクロン株対応型のものに置き換わっているということがありますので、在庫がやはりあります。こちらにつきましては1価ワクチンですが、従来型のものにつきましては100バイアル程度残っているかなというふうに見ております。

それと、オミクロン株対応型のワクチンにつきましては、順次、町に納品されてきますので、今後、接種体制に影響のないような形で進めていこうというふうに考えております。以上です。

議長（岩崎信幸君） 富岡議員。

〔2番 富岡栄一君発言〕

2番（富岡栄一君） 今の話ですと、取りあえず最初のワクチンはまだ残っているということは、町民がそれだけまだ接種していない方が多いのかなと思います。

オミクロン株対応のワクチンは随時入ってくるとは思うんですけども、取りあえず、今現在で分かっている町民の接種率がありましたらお願いいたします。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） 10月13日現在になりますけれども、1回目の接種率につきましては84.2%、2回目の接種率につきましては83.6%、3回目の接種率につきましては66.1%、4回目の接種率につきましては28.6%という形になっております。以上です。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。

山畑議員。

〔12番 山畑祐男君発言〕

12番（山畑祐男君） 小池議員の質問に関連するんですけども、私の聞き間違いだったら大変申し訳ないんですけども、コロナのコールセンターの費用が、一番最初の課長の答弁では億という金額を言ったと思うんですけども、今回の約2,000万円ぐらいがコールセンターというふうに私は聞いたんですけども、その辺は間違いはないのかどうか。

もしそれがそのとおりでとすると、ちょっと費用が、億からというとかかるんじゃないかなと思うんです。例えば榛東村なんかですと、もう事前に予定日を印刷して配って都合の悪い人だけ申し出なさいという形でやっている、費用もかからないと思うんです。

私も経験あるんですけども、コールセンターに電話してつながらないですよ。つながらないだけじゃなくて、その間の電話料もかかってくるわけですよ。時間も。だから、そういうことも考えると、やり方自体を、吉岡の現在のやり方じゃなくて、変えていかないといけないんじゃないかなと思うし、今説明があった4回目は約3割行ってないですよ。がくっと減る。そういうことも考慮しながら、今までやっていた人、そういうのも記録で残るわけですから、そういったものを精査しながらやっていくことが必要じゃないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） コールセンターにつきましては、予算的には今年度この補正後の金額になりますけれども、1億2,400万円ほどの予算になります。

また、コールセンター等につきましては、初日等、どうしても電話が殺到するというところでつながりにくいという状況もあります。そういったところも考えながら、また席数を増やして対応するといったようなこととしておるわけですけども、今後につきましてもそういったことを行っていきたいと思えます。

あと、今回4回目の接種のときからおまかせ予約という形で、町にそちらを提出していただければ、こちらで接種の予定日を通知して受けていただくというようなことをさせていただきました。こちらもある程度、何百件という数で利用されておりますので、こういったところも今後も使いながら行っていきたいと思えます。

また、4回目の接種につきましては60歳以上の方が対象ということで、医療機関ですとかそういった方、また基礎疾患等がある方ということでやっておりますので、今言った28.6%、大分落ちているんですけども、60歳以上ということだと約76%の方が4回目を受けているという形になります。

以上になります。

議長（岩崎信幸君） 山畑議員。

〔12番 山畑祐男君発言〕

12番（山畑祐男君） 一応、説明としては分かりましたけれども、申込みの仕方、これをもう一度考慮すべきではないかなと思うんです。

一般的に私なんかの町民の感覚でいうと、あのコールセンターで1億からかかるというのはちょっとかかり過ぎじゃないかなと。設備を使うわけじゃないでしょうから、人件費とかということだと思うんですよ。そうすると、その辺のところは臨時でやったのかあるいは常駐しているのか、いろいろ条件によって変わると思うんですけれども、確かにそういうところをお願いしちゃえば役場としては楽でしょうけれども、やっぱり予算というものを考えながらやるべきではないかなと思うんです。それをお願いして私の質問は終わります。

以上です。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。

平形議員。

〔11番 平形 薫君発言〕

11番（平形 薫君） 先ほど吉岡町の1回目から4回目までの接種率を聞きましたけれども、ここで聞きたいんですけれども、役場としては、我が吉岡町民の抗体保有率は、推計でも結構ですけれども、何%ぐらいだと推計しておりますか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） そちらにつきましては、ちょっと数字等持ち合わせておりませんので、お答えのほうは控えさせていただきます。

議長（岩崎信幸君） 平形議員。

〔11番 平形 薫君発言〕

11番（平形 薫君） 抗体保有率は持ち合わせてないということですが、いろいろな新聞等を見ますと、政府は外国人観光客を緩和して受け入れるとか、あるいは吉岡町でもいろいろな公的行事が少しずつ緩和されて開かれるようになってきました。

しかし、また第8波が来るかどうかというのはまだ誰も分からないわけです。それをある程度、来ない・来るが分かるのは、これは吉岡町民だけではなくて日本国のワクチンに対する抗体保有率がしっかり数字がつかめてないと何とも言えない数字だと思うんです。

いろいろな情報を取りますと、日本以外の国というんですか、欧米の国の方々の抗体保有率というのはかなり高いと。ところが、日本をはじめとするアジアの人種の方は抗体保

有率が低いというのが専門家の見方です。したがって、我が日本に対しては、まだまだ第8波が来ないという確証はないわけですね。

こういった中で、今、吉岡町でいろいろな公的行事が少しずつですけれども開かれるようになってきました。ところが、現実を見ますと、教育関係の小学校、中学校で学級閉鎖が今日もまだ続いている状況ということが現実としてあるわけです。したがって、公的行事というのが開かれることに対して町民の活動に相当な影響を与えるということが考えられるわけです。これを開くに当たっては、感染防止対策をやっているということをきちんと説明した上で開くべきじゃないかなというふうに思うんです。現状を見ますと、そういうことに対しての配慮が欠けているんじゃないかというふうに思うんですけれども、いかがでしょうか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） 感染防止対策につきましては、今後につきましても皆さんに努めていただくように周知といったところをしていきたいというふうに考えております。

議長（岩崎信幸君） 平形議員。

〔11番 平形 薫君発言〕

11番（平形 薫君） 最近、政府でマスクを着用しないということが新聞等で幾つか発表されてきて、これはいろいろな議論を呼んでいるところではありますけれども、前からコロナの感染を防止するためには、やはりマスクの着用というのは日本では普及といたしますか、かなり基本的な対策というふうになっていたわけですけれども、欧米各国を見ますと、もうほとんどマスクしている人はいないですね。ところが日本は違いますよね。

先ほど言ったように、抗体保有率が明確に、もう第8波が来ないということになれば話は別でしょうけれども、そういうデータがない以上、吉岡町の住民に対して役場の取るべき態度としては、感染防止対策としてマスクはやるんだということをいろいろところでアピールするべきじゃないかと思うんですけれども、いかがでしょうか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） 国のほうからのまた情報提供等あるかと思しますので、そういったところも検討しながら対応していきたいと考えております。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。

廣嶋議員。

〔4番 廣嶋 隆君発言〕

4番（廣嶋 隆君） 先ほどワクチンの在庫量に関して在庫がありというお答えでした。この在

庫は何人分あって、その在庫の使用期限はいつまでなのか、お尋ねします。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） モデルナ社製の従来型のワクチンにつきましては11月上旬までの期限のものが1,500回分ということで残っております。また、オミクロン株対応のもの、その他のものにつきましては、使用期限のほうはもう少し先になっておりますので、ちょっと今、細かい数字等持ち合わせていないので申し上げられませんが、すみません、よろしく願いいたします。

議長（岩崎信幸君） 廣嶋議員。

〔4番 廣嶋 隆君発言〕

4番（廣嶋 隆君） 1,500人分が在庫であり、なおかつ期限が11月上旬と。これは全部使用できるんですか。それとも廃棄処分になるとすればどれぐらい廃棄処分になるのか、お尋ねします。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） こちらにつきましては、今1,500回分、オミクロン株対応のワクチンにもう置き換わっているところがありますので、あとは市町村間などで融通等を行って破棄するものを減らしていきたいとは思っているところですが、現在、こちらのほうは1,500回分が残っているということになります。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。

小林議員。

〔1番 小林静弥君発言〕

1番（小林静弥君） 先ほど補正の減額の中で、コールセンターに係る費用の減額ということをお聞きしましたけれども、だんだんと申込者数は、前回受けていなければ次は受けられないということで、増えることはなく、だんだんと回数を重ねるごとに減ると思うんですが、その中で年齢の高い人が先、年齢の若い方がその次というような順番で、第4回目も60歳以上から始まって、また最近18歳以上ですか、若い人の順番の通知が来たと思うんです。

その中で申込みの方法なんですが、このようにコールセンターに多額の費用がかかるほどコールセンターは電話が中心の申込みになっているんでしょうか。というのは、私もそうなんですが、若い世代といいますか、スマホ世代はLINEの申込みがとても手軽なのでLINEで申込みをするということがだんだん年齢が低くなるにつれて多くなると思うんですが、コールセンターで申込みをされる人と、LINE等で申込みをされる人の比率

ですとかそういったことが分かれば、今後の予算の見込みもそれほど多くの補正が減額になるようなことはないと思うんですけども、その辺は捉えていらっしゃるでしょうか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） 今年度の8月ぐらいまでの関係なんですけれども、LINEの予約、1回目、2回目につきましては25.6%、コールセンター等が74.4%、3回目につきましては、LINEの予約が44.5%、コールセンター等の利用が55.5%、4回目につきましては、LINE予約は33.4%、コールセンター等が57.9%。それで新しくおまかせ予約ということで導入しましたので、こちらのほうが8.7%、そういった形になっております。

議長（岩崎信幸君） 小林議員。

〔1番 小林静弥君発言〕

1番（小林静弥君） やはり、今お聞きしたように、だんだんとコールセンターよりもLINEの申込みのほうが増えてきていると。4回目についてはまだこれから若い人が申し込まれる数がまだ残っていると思いますので、LINE等の申込みのほうの方が比率が上回ってくるんじゃないかと思いますが、その辺も今後コールセンターの予算のほうに考えていかれたらいいんじゃないかと思うんですが、その辺はいかがお考えですか。

議長（岩崎信幸君） 中島健康子育て課長。

〔健康子育て課長 中島 繁君発言〕

健康子育て課長（中島 繁君） 現在も、LINEとコールセンターということで併用させていただいて、またおまかせ予約ということも始めさせていただいている状況です。やはり、高齢者の方になりますと、コールセンターの利用のほうはどうしても高くなるということで、また5回目接種とかそういったことになりますと、やはりコールセンターの関係につきましても、ある程度のものが必要になってくるのかなと。また、予約だけではありませんで、コールセンターに質問等、問合せ等に対しましても結構多くの数が寄せられるということがありますので、LINE予約等も周知させていただきながら進めさせていただきたいと思っております。

議長（岩崎信幸君） ほかにありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（岩崎信幸君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第61号は、吉岡町議会会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議 長（岩崎信幸君） 異議なしと認めます。よって、委員会付託を省略することに決定します。
これより討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議 長（岩崎信幸君） 討論なしと認め、討論を終結します。
これより起立によって採決を行います。
議案第61号 令和4年度吉岡町一般会計補正予算（第5号）を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議 長（岩崎信幸君） 起立多数です。
よって、議案第61号は原案のとおり可決されました。
これで本日の日程が全て終了しました。

町長挨拶

議 長（岩崎信幸君） 閉会の前に、町長の発言の申入れを許可します。
柴崎町長。

〔町長 柴崎徳一郎君登壇〕

町 長（柴崎徳一郎君） 令和4年第5回議会臨時会の閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。
本日は上程案件を可決いただきまして、大変ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。可決いただきました案件については、速やかに執行させていただきます。
新型コロナウイルス感染症の蔓延状況も小康を保っているようです。今回議決いただいた補正予算における継続するコロナ対策はもちろん、アフターコロナを見据えた経済対策等、課題は山積しております。今後も、国会における審議経過を踏まえ、臨機応変な対応を取れるよう、関係機関等と連携しながら対処していきたいと考えております。
結びに、議員皆様にはますますのご活躍をご祈念申し上げまして、閉会に当たっての挨拶にさせていただきます。
本日は大変お世話になりました。

閉 会

議 長（岩崎信幸君） 以上をもちまして、令和4年第5回吉岡町議会臨時会を閉会します。
午前10時22分閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する

吉岡町議会議長 岩 崎 信 幸

吉岡町議会議員 小 林 静 弥

吉岡町議会議員 富 岡 栄 一